

一 等一大車の事 とういちだいしゃ

仰せに云はく、此の大車とは直至道場じき し どうじょうの大白牛車だいびやくごしゃにして其の疾きこと風の如し。所詮南無妙法蓮華経を等一大車と云ふなり。等と云ふは諸法実相なり、一とは唯一乘法なり、大とは大乘なり、車とは一念三千なり。仍よつて釈には等の字を子等車等と釈せり。子等の等によがとうむいは如我等無異の等と同じなり。車等の等は平等大慧の等なり。今日蓮等の類南無妙法蓮華経と唱へ奉る者は、男女貴賤共に無上宝聚不求自得むじょうほうじゅふくじとくの金言を持つ者なり。智者愚者をきらはず即身成仏なり云云。疏しよの五に云はく「一に等子、二に等車。子等を以ての故すなわに則ち心等し。一切衆生等しく仏性有るに譬ふ、仏性同じき故に等しく是子なり。第二に車等とは、法等しきを以ての故に仏法に非ざること無し。一切の法皆摩訶衍まかえんなるに譬ふ。摩訶衍同じきが故に等しく是大車なり。而して各賜しと言ふは各の本習ほんじゅうに随ふ。四諦・六度・無量の諸法、各の旧習くじゅうに於て眞実を開示す。旧習同じからざるが故に各と言ふ。皆摩訶衍なり。故に大車と言ふ」と。